

## スペシャルトランポリン交流大会(特別規則)

- (1) 競技はSSクラス・Sクラスは規定演技と自由演技の合計点で、Aクラス、Bクラス、5種目クラスは2回の自由演技の合計点で順位を決定する。

- (2) 審判団構成

SSクラス ・ Sクラス		Aクラス ・ Bクラス ・ 5種目クラス	
主審	1 名	主審兼難度審	1 名
難度審	2 名	難度審	1 名
移動審	2 名	移動審	2 名
演技審	4 名	演技審	3 名
合計	9 名	合計	7 名

- (3) 得点 総得点は難度得点、移動得点、演技得点の合計点からなる。

総得点＝演技得点(最大20点)＋移動得点(最大10点)＋難度得点－ペナルティー

### 3-1 移動得点

2名の審判の移動得点の平均を有効得点とする。

### 3-2 演技得点

SSクラス、Sクラスの演技得点は4名の演技審判の得点の中間得点2つを演技得点とし、Aクラス、Bクラス、5種目クラスの演技得点は3名の演技審判の得点の中間得点を2倍し演技得点とする。

※ 5種目クラスは従来10点満点での採点を行ってきたが、今回から有効本数の満点の演技点から各審判が減点する。(各演技審判5点満点)

※ 跳躍時間点はなしとする。

- (4) 声かけ、模倣について(Bクラスのみ)

4-1 声かけ、模倣(写真、カード等の使用含む)をする指導者、コーチは補助台の上の平坦な部分のみとする。

4-2 各方向1名のみとし、最大2名の指導者、コーチを認める。

4-3 台の下、フレームパット、補助台の傾斜のある場所での声かけは認めない。

4-4 台の上に上がった指導者、コーチは必ず直立状態から行う。(安全性の考慮)

- (5) 使用種目の制限等

5-1 「膝落ち」「四つん這い落ち」「ターンテーブル」は演技種目として認められる。

※ 側方向軸の技はターンテーブルのみとする。

※ 「四つん這い→1/2捻り四つん這い」は認めない。

5-2 SSクラス、Sクラス以外の部門は宙返り(重心が頭部より上になる種目)は演技構成の中に入れてはいけない。

- (6) タイムオーバーについて( Aクラス・Bクラス 5種目クラスのみ)

合図から121秒以内で演技開始されない場合0.6のペナルティーがなされ、再度そのグループの最後にもう一度のみ演技することを可能とする。

(7) タイブレイク(同点)について

以下の方法で順位を決定する。

1. 2回目の演技のE得点の最も高い選手
2. 2回目の演技のHD得点の最も高い選手
3. 1回目、2回目のE得点の合計が最も高い選手
4. 1回目、2回目のHD得点の合計が最も高い選手

個人10種目SS規定

- 1 タックバック
- 2 ストラドルバウンス
- 3 タックバラニー
- 4 タックバウンス
- 5 タックバックシート
- 6 1/2スタンド
- 7 1/2ピルエット
- 8 パイクバウンス
- 9 1/2フロント
- 10 スタンド

個人10種目Sクラス規定

- 背落ち
- バックオーバー
- シート
- ハーフスタンド
- ハーフピルエット
- パイク
- ハーフフロント
- スタンド
- ストラドルバウンス
- タック前宙